

滞在もできる京町家ギャラリーを運営

周辺地域の活性化にもつなげたい

平成22年度 採択事業

株式会社

吉岡甚商店

取締役社長

吉岡信昌さん



吉岡信昌さん

「京都絞り工芸館」を母体として

京都に貸しギャラリーは数々ありますが、京町家を利用し、かつ宿泊もできるという異色の取り組みで話題を集めているのが「京町家ぎやらい ほりかわ」。「京都絞り工芸館」を運営する吉岡甚商店が、平成23(2011)年にオープンしました。

吉岡甚商店は昭和14(1939)年の創業。京絞り製品の製造卸しでトップメーカーだった同社が、現会長の決断で「京都絞り工芸館」を開館し、小売販売も手がけるようになったのは平成13(2001)年のこと。館内には伝統の技術と道具をパネルや実物で展示し、特別展を開催したり絞り体験もできます。「京絞りは日本最古の染色技術といわれますが、近年、絞りがどんなものなのか分からないという人が増え、職人も激減。会長は、何より知ってもらうことが大事だと考えたようです」と吉岡信昌さん。

吉岡甚商店は祖父が創業し、父が工芸館を設立し、3代目がギャラリーを開くことで、三代に渡って新しいチャレンジを積み重ねることとなりました。



町家を再生した「京町家ぎやらい ほりかわ」

展示会をする・観る、を旅のテーマに

京町家ぎやらい ほりかわは、二条城にほど近い堀川御池交差点のそばにあります。もとはコンクリートで固めアルミサッシの入った建物で、吉岡さんは町家とは思っていなかったそう。「工芸館もある御池通の南側、「田の字地区」の活性化を考えていて、何かに使えるのではと買い求めたんです。ところが、修繕するのに壁や天井をはがしていくと、町家の骨格が出てきて。坪庭もありましたし、それならちゃんと町家として再生しようということになりました」。柱や梁の朽ちた部分には大工さんが木を小さく削って埋めるなど、できる限り昔の状態に戻

観光資源の活用 人・まち・社会を元気に

し、外には白壁を塗り、格子戸や虫籠窓、くぐり戸などを取り付けました。こうして町家としての姿が蘇っていく中で、吉岡さんは「ギャラリーにしたい」と思うように。「せっかくの京都で、しかも町家です。イメージとしては、たとえば年に1回、同窓会のようにみんなが集まってここで展示会をするとか、親戚や友人の個展を観て京都観光も楽しむという、テーマを持った旅行をご提案できるのではと考えました」。そこで玄関部分は吹き抜けに、高さのある作品も展示できるようにしました。



埼玉在住の人形作家による源氏物語人形展より

展示会を通して京都人気分を楽しんでほしい

吉岡さん自身の経験から、「こういう貸し方をしてくれたらうれしい」というのを実現。「展示用として、町家に合う木製の机など風情のある什器を揃えました。壁は取り外しができ、外すと柱組みが出てきます。陶器などを並べられる方にはそういう素朴な感じを喜んでいただけますし、絵などをたくさん掛けたい方は壁面で利用されますね。衝立で仕切ればコーナー分けをすることもできます」。絞り工芸館の机などを提供することもあるのだとか。さらに、「開館時間をびったり定めているところが多いのですが、よく夕方からお友達が来られて話はずむということもありますし、鍵をお渡しますので、そのへんはご自由に使っていただいています。日程も応相談。インターネットなど告知するところにはいろいろ書いていますが、実は柔軟なんです(笑)」。京都らしい雰囲気とアットホームな魅力で、借り手にはリピーターも多いそうです。

そして2階では10名位まで宿泊もOK。これも以前の体験からの発想でした。「軽井沢で絞りの展示会をしたとき、空いていた部屋に泊まったことがありました。朝散歩して、お客さんが来られたらギャラリーを開けて。軽井沢ですから別荘を持っている人の気分が味わえたんです。ですから、ここでは京都に住んでいる人の気持ちを体感していただけたらと。何より、作品のそばで寝泊りできるのがうれしいことだと思うんですね」。実際、展示会の最終日にここに泊まる、という人が多いといいます。



三世代8名の作品が集ったファミリー展より

ギャラリーを拠点に人の流れを作りたい

ギャラリーを開いたのを機に、吉岡さんは、田の字地区の主な見どころや食事処をピックアップした周辺マップを作成。二条城の休憩所などにも置いてもらっています。「この境界は残念ながら、一般に出まわっている観光マップで抜け落ちていることが多くて。二条城からこちらへ、交差点を渡って来られる方も少ないものですから、かねがね、何とか人を呼ぶことができないかと考えていました。また三条通から北へ歩いてもらい、二条城、神泉苑まで続く人の流れができればと。そうなるとう工芸館に寄っていただく方が増え本業のビジネスにもプラスになりますし、地域の賑わいを作ることにつながるのではないかと考えています」。

今、ギャラリーでは、全国に居住する親族が集まったファミリー展や大学のサークルによる書道展など、年齢やジャンルを超えた、ユニークな展示会が開催されるようになりました。なお一層利用率を高め、出展者とのコラボレーションにより絞りの新製品も開発できたら、と吉岡さんは考えています。「ギャラリーが、全国の人が集う文化交流の場となり、地域振興の一翼となればうれしいです」。

事業概要

株式会社 吉岡甚商店

http://shibori.jp/

代表：吉岡信昌

業種：絞り製品製造卸し・小売販売

創業：昭和14(1939)年 設立：昭和35(1960)年

住所：〒604-8261

京都市中京区油小路通御池下ル式阿弥町 135-5

TEL：075-221-4544 FAX：075-221-4253